

住民自治協議会

#41 大河内地区住民自治協議会

まさりんどう
北畠家の家紋「笹竜胆」



大河内城跡登城記念として
大河内地区市民センターに設置、
来城されたご本人が押印できます。



大師道道標(たいしどうどうひょう)
旧和歌山街道に残る道標。根木峠を越えて
丹生大師へ向かう案内表示です。

大河内地区は、明治22年に桂瀬、笹川（明治4年笹川村と山村が合併）、大河内、矢津、勢津、辻原、阪内の7村が合併して、大河内村となりました。昭和32年に松阪市と合併して、現在は桂瀬町、笹川町（寺井、山村）、大河内町、矢津町、勢津町、辻原町、阪内町の7町、8地域で自治会を組織しています。

大河内地区の地理は松阪市を流れる阪内川の中山間部に位置し、上流部は西に白猪山、北に堀坂山があり、地域の東西に国道166号（和歌山街道）が縦走り、街道沿いには古の名残と共に、国道166号は私たち住民の重要なライフラインとなっています。

緑に囲まれる大河内城址では、1569年に伊勢国国司の北畠具教・具房親子と尾張国大名織田信長が率いた大軍とが2ヶ月にも及ぶ攻防戦を繰返し、和睦を結んで戦いは終結しました。

大河内地区は少子高齢化と過疎化が

進むと共に、住民のニーズや生活様式が多様化する中で、様々な活動や地域の繋がりが希薄になることが危惧されています。豊かな自然、先人が育んできた郷土の文化を活かして継承していくには、住民同士が支え合い、みんなが積極的に活動に参加して、活躍できる地域づくりが必要です。

住民自治協議会の安全安心部会は防災訓練等の実施、環境部会は花畑事業や一斉清掃等の実施、福祉ふれあい部会は夏祭り納涼大会や敬老会等の実施、健康促進部会はあまごつかみ大会や地区体育祭等の活動を行っています。これらの活動を通じて、各部会が地域の将来の方向性と姿を見据えて地域活動の充実・強化を図り、地域力の向上に取り組んでいます。



阪内川の清掃風景
毎年大河内地区8自治会で国道166号や峠道、阪内川堤防などを歩きながらゴミを拾う一斉清掃活動を行っています。

お知らせ

健康ウォーキングマップ第4号 信長苦戦の地大河内城跡コース



大河内城は、北畠氏が織田信長の軍に対して少人数で籠城をし、守り切った城として知られ、西蓮寺には平安時代の木造聖観音菩薩立像がまつられている歴史深いコース。



活動紹介



老人福祉施設へ花と絵手紙プレゼント

令和3年12月に笹川町の老人ホームリンドアールと辻原町のふれあいの里つじわらへ、大河内小学校6年生と大河内保育園の園児が育てた花と絵手紙を届けました。



花畑事業

畑を借り受け、毎年5月からコスモスやヒマワリを育てて保育園児や一般の人々に楽しんでもらっています。